

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	経営情報論 I
教科書	経営情報システム(宮川公男, 中央経済社)
補助教材等	プリント

学習上の留意点

担当教員からのメッセージ
<p>企業経営における情報の共有と活用を中心に、経営システムと情報技術とのかかわりについて多面的な観点から講義する。具体的には、ビジネスの効率化や意思決定支援という側面から情報技術の役割について解説するとともに、情報システムの設計・開発・運用・保守の各段階における経営的な課題について理解することを目的とする。また、企業変革における情報技術の活用や企業間情報ネットワークのしくみと役割、情報化投資の評価手法などについて理解することもめざしたい。なお、適宜必要に応じて演習を行う。</p>

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・ シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	経営情報システムの形態と特徴①	・ MISの全体像や構造、基本機能について理解できる。 ・ DSSの特徴や機能について理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
3	経営情報システムの形態と特徴②	・ 競争優位を得るための戦略支援システムについて理解できる。 ・ SISの例について理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
4	経営情報システムの開発と運用①	・ EUC・EUDの概要を理解できる。 ・ 情報システム部門の今日的役割を理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
5	経営情報システムの開発と運用②	・ 情報システムのアウトソーシングの概要を理解できる。 ・ SLA・SLMIについて理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
6	経営情報システムの開発と運用③	・ ERPパッケージの概要を理解できる。 ・ OSS利用の課題について理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
7	経営情報システムの開発と運用④	・ クラウドコンピューティングの概要を理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 電子商取引と企業間情報ネットワーク①	・ 試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・ 電子商取引のしくみや種類を理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
10	電子商取引と企業間情報ネットワーク②	・ EDIシステムの概要を理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
11	電子商取引と企業間情報ネットワーク③	・ EDIのしくみや種類、特徴などを理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
12	企業変革における情報技術の活用①	・ SCMやトレーサビリティシステムの概要が理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
13	企業変革における情報技術の活用②	・ CRMの概要が理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
14	企業変革における情報技術の活用③	・ 知識マネジメントの概要が理解できる。	授業中に配付した資料を復習すること
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・ 試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・ 全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間